

第 55 回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会要綱

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会設立 30 周年記念大会

《大会テーマ》

『ソーシャルワークの^{ちむぐる}肝心』

～今こそ MSW のポジショニングを考える～

開催日 平成 30 年 11 月 23 日（金・祝）～24 日（土）

会 場 沖縄産業支援センター

〒901-0152 沖縄県那覇市字小緑 1831 番地 1

主 催 九州医療ソーシャルワーカー協議会

第 55 回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会実行委員会

（一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会）

後 援 沖縄県 那覇市 沖縄県医師会 沖縄県看護協会 沖縄県社会福祉協議会

沖縄県精神保健福祉士協会 沖縄県社会福祉士会

沖縄ソーシャルワーカー協会 沖縄県介護支援専門員協会

沖縄県理学療法士協会 沖縄県作業療法士会 沖縄県言語聴覚士会

沖縄県介護福祉士会 沖縄県臨床心理士会 沖縄県慢性期医療協会

沖縄県精神科病院協会 国立大学法人琉球大学 沖縄大学 沖縄国際大学

公立大学法人名桜大学 沖縄キリスト教学院大学 沖縄女子短期大学

ソーシャルワーク専門学校 沖縄テレビ放送株式会社 NHK 沖縄放送局

琉球放送株式会社 琉球朝日放送株式会社 ラジオ沖縄株式会社

沖縄タイムス社 琉球新報社

<大会趣旨>

2025年に向けた「地域包括ケアシステム」構築への取り組みは、地域差はあるものの政策として具体性を帯びてきました。本年4月には診療報酬・介護報酬同時改定があり、医療と介護の連携や地域づくりに対する医療ソーシャルワーカーへの組織からの要請は益々大きくなり、それと比例して業務量も増大しています。

しかし、業務量の増大が視野を狭め、本来あるべきソーシャルワーク実践やソーシャルワークの目指す姿を見失ってしまう危険性を感じます。平均在院日数・在宅復帰率等の結果は一つの指標であり、患者さんやご家族の生活目標の実現（成果）を支援するプロセスが重要です。質の高い個別実践（プロセス）により真の成果は得られ、プロセスを軽視した結果は、継続性が失われ伝承されません。また、自らの実践や組織・地域の状況の何が目標実現に影響を与えたのか、全体を俯瞰してアセスメントできるのがソーシャルワーカーです。

沖縄の方言である^{ちむぐくる}肝心は、「人の心に宿る、より深い想い」という意味です。心の底から湧き出る相手を想いやる心を私は持っているだろうか。未来を見据え、ソーシャルワーカーとして自身のポジショニングを考える大切な時期にきていると考えます。

ソーシャルワークの価値と倫理に基づいた実践を行うために、ソーシャルワーカー個々の研鑽、仲間づくり、組織づくり、地域づくりにどのように取り組むか。

今大会では、視野を広げ、プロセスやストーリーの大切さを学び、その上で専門性について考察し、これからの実践に資することを目的にします。

定員 250名

参加費 会員 6,000円 非会員 8,000円 学生 3,000円

懇親会費 4,500円

日 程

開催日		平成30年11月23日（金・祝）～11月24日（土）	
日	時間	内 容	
11月23日 金曜日	10:00～12:00	会 義	九州医療ソーシャルワーカー協議会 九州医療ソーシャルワーカー協議会教育研修部会
	12:30～12:55	開 会 式	
	13:00～14:45	30周年 記念講演	テーマ：「感動体験で自分が変わる！地域が変わる！ ～キムタカ！奇跡の舞台の舞台裏」 講師：平田 大一 氏 沖縄文化芸術振興アドバイザー
	15:15～17:45	研究発表	・カテゴリー1：地域連携 ・カテゴリー2：業務改善 ・カテゴリー3：入退院支援 ・カテゴリー4：ソーシャルワーク実践
	18:30～21:00	懇 親 会	
11月24日 土曜日	10:00～11:45	基 調 講 演	テーマ：『現代日本社会における脱家族化とその帰結』 講師：安藤 由美 氏 琉球大学人文社会学部 人間社会学科 教授 シンポジスト：土肥 尚浩 氏（熊本県MSW協会会長） 樋口 美智子氏（沖縄県MSW協会会長）
	11:45～13:00	<昼食休憩>	
	12:00～12:30	会長の部屋	
	13:00～15:00	ワークショップ*	①「面接技術～初任者のための解決構築の面接技法」 講師：大垣 京子 氏 医療法人武田内科医療相談室長 日本医療ソーシャルワーク学会 会長 ②「医療連携マーケティング‘明日からできる’ノウハウ入門編」 講師：佐野 哲 氏 法政大学経営学部長 ③「価値に向き合いナラティブに考える臨床倫理 ～ソーシャルワークでの活用術～」 講師：金城 隆展 氏 琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士・倫理コンサルタント ④「意思決定を支援する」 講師：植竹 日奈 氏 まつもと医療センター 医療ソーシャルワーカー
	15:00～15:30	閉 会 式	

※ワークショップは選択制となっております。会場の都合上、人数制限もございます。申し込み開始後、先着順となりますので、確認の上お申し込みください。

記念講演：11月23日（金・祝）13：00～14：30

テーマ：「感動体験で自分が変わる！地域が変わる！～キムタカ！奇跡の舞台の舞台裏」

講師：ひらた だいち 平田 大一氏



講師略歴：1968年、沖縄県八重山竹富町小浜島生まれ。大学在学中から、南島詩人として、また演出家として独自の舞台活動を展開。大学卒業後「小浜島キビ刈り援農塾」を主宰、文化を基調とした地域活性化を一生の仕事と決める。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」を歴任、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に大抜擢、公職経験を経た2013年から4年に渡り「(公財) 沖縄県文化振興会」理事長に就任、数々の事業成功を実現させ、2017年6月に退任。現在はフリーランスの「沖縄文化芸術振興アドバイザー」として世界と沖縄をつなぐ活動を展開中。「内閣府沖縄振興審議会」に在籍する一方で「くるちの杜 100年プロジェクト」や「現代版組踊シリーズ」など、文化に軸足を置いた新たな地域活性化のモデルづくりのトップランナーとしても更なる挑戦を続ける。49歳。

講演内容：うるま市地域の青少年が演じる舞台『現代版組踊 肝高の阿麻和利』を手掛けたり、平均年齢84歳の超スーパーローカルアイドル『KGB84』（通称「小浜島ばあちゃん合唱団」）を生み出したり、ユニークでインパクトのある人財育成や地域活性化のモデルケースを次々と発信するソーシャルアントレプレナー（社会起業家）平田大一氏による感動講演会。笛、太鼓、舞まで飛び出る八面六臂な活躍に乞うご期待下さい！仲間づくり・組織づくり・地域づくりのヒントがきっと見つけれられるはず！

基調講演：11月24日（土）10：00～11：45

テーマ：「現代日本社会における脱家族化とその帰結」

講師：あんどう よしみ 安藤 由美氏



講師略歴：
東京都出身
早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学
現職 琉球大学人文社会学部教授

主要業績：
『「若者と親」の社会学』（共著、青弓社、2010年）
『沖縄の社会構造と意識』（共編著、九州大学出版会、2012年）
『持続と変容の沖縄社会』（共編著、ミネルヴァ書房、2014年）
『変容する社会と社会学』（共著、学文社、2017年）

講演内容：家族の個人化あるいは脱家族化（未婚化、単身世帯化など）が急速に進行しているとされる近年の日本において、その変化の来し方と行く末はどのようなものなのか。本報告では、制度、関係性（様々なダイアド：夫婦、親子、きょうだい、祖父母と孫等）に焦点をあてながら、個人の人生時間（ライフコース）、家族の時間（ファミリーサイクル）、歴史の時間といった複合的な時間軸の中で、家族の変化を実証的に明らかにしたい。そのことを通して、ケアをめぐる家族とその外部システム（保健や福祉にかかわる制度、あるいは市場）との機能分担がどのように変わりつつあるのかという問題についても迫ってみたい。

ワークショップ：11月24日（土）13：00～15：00

ワークショップ①

テーマ：「面接技術～初任者のための解決構築の面接技法」

講師：^{おおがき}大垣 ^{きょうこ}京子氏（医療法人武田内科医療相談室長 日本医療ソーシャルワーク学会会長）

内容：あなたは意図的な面接が行えていますか？解決構築技法（ソリューションフォーカストアプローチ）は従来の「問題解決」に焦点をあてるのではなく、「解決後の生活」に焦点を当てた面接技法です。過去の問題や短所ではなく、クライアントが望む未来と長所に目を向けた解決技法と一緒に学んでみませんか？

参加資格：経験年数5年未満の方

ワークショップ②

テーマ：『医療連携マーケティング～「明日からできる」ノウハウ入門編』

講師：^{さの}佐野 ^{てつ}哲氏（法政大学経営学部長）

内容：マーケティングは「ガツガツした営業活動」などではありません。そんな「営業などしなくても、顧客や利用者が自然と集まる、情報分析・組織づくり・仕組みづくり」。これがマーケティングです。医療ソーシャルワーカーの地域医療連携活動を想定して経営学理論をアレンジし、分析ノウハウ及び文書フォーマットを用いたグループワークを行いながら、「マーケティングの考え方とエッセンス」について学び、体験して頂きます。

ワークショップ③

テーマ：「価値に向き合いナラティブに考える臨床倫理～ソーシャルワークでの活用術～」

講師：^{きんじょう}金城 ^{たかのぶ}隆展氏（琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士・倫理コンサルタント）

内容：私たちは実践の中でたくさんの選択を重ねています。「どう考えたらよいのか」と悩み迷った時に、立ちどまって考える「臨床倫理」「医療倫理」を学ぶ機会を準備しました。倫理的判断とは？チームの中で専門職倫理をどうやって実践する？ソーシャルワーカーが大事にしたいことを思い出せる時間になると思います。ぜひ一緒に学びましょう。

ワークショップ④

テーマ：「意思決定を支援する」

講師：^{うえたけ}植竹 ^{ひな}日奈氏（まつもと医療センター 医療ソーシャルワーカー）

内容：昨今、意思決定支援の重要性が叫ばれていますが、あなたが今している支援は本当の意思決定支援になっていますか？このワークショップでは、本当の意思決定支援の意味と支援に携わるMSWの役割について一緒に検討していきたいと思えます。